PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

64-067396

(43)Date of publication of application: 14.03.1989

(51)Int.Cl.

B44B 9/00

B44C 1/28

(21)Application number : **62-226116**

(71)Applicant : GUNZE LTD

(22)Date of filing:

08.09.1987

(72)Inventor: TAKAHASHI MINORU

MUKAI YUJI

TAKENOUCHI SHIN MAKINO YUTAKA

(54) DECORATION BEADS ARRANGING MACHINE

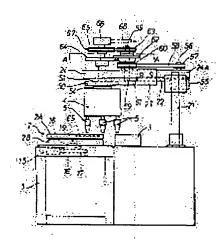
PURPOSE: To obtain such a decoration beads

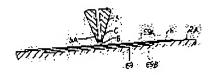
(57) Abstract:

arrangement apparatus that thermal transcription to stocking and others can be automated by placing beads supply head between beads arrangement table and transfer table, and equipping on that head with beads attracting nozzle that attracts beads and makes them to be stuck to the adhesive face of adhesive tape.

CONSTITUTION: Beads B on beads arrangement table 3 have been arranged in order with the side attached with adhesive C downward, adhesive C portion is sucked by suction nozzle 5, suction nozzle 5 moves onto adhesive tape 6 on transfer table 2 and goes down, and surface of the bead B is adhered to the adhesive face of

the adhesive tape 6. The suction nozzle 5 returns onto





the arrangement table 3 immediately after adhesion of the bead B, again attracts bead B and moves onto the adhesive tape 6. On the other hand, the transfer table 2 moves in every direction responding to a decoration beads pattern whenever single bead B is adhered to the adhesive tape 6 with the suction nozzle 5, and this procedure is repeated to form the decoration pattern with beads B on the adhesive tape 6.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

PAT-NO:

JP401067396A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01067396 A

TITLE:

DECORATION BEADS ARRANGING MACHINE

PUBN-DATE:

March 14, 1989

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY

TAKAHASHI, MINORU N/A

MUKAI, YUJI N/A

TAKENOUCHI, SHIN N/A MAKINO, YUTAKA N/A

INT-CL (IPC): B44B009/00, B44C001/28

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain such a decoration beads arrangement apparatus that thermal transcription to stocking and others can be automated by placing beads supply head between beads arrangement table and transfer table, and equipping

on that head with beads attracting nozzle that attracts beads and makes them to be stuck to the adhesive face of adhesive tape.

CONSTITUTION: Beads B on beads arrangement table 3 have been arranged in

order with the side attached with adhesive C downward, adhesive C portion is sucked by suction nozzle 5, suction nozzle 5 moves onto adhesive tape 6 on transfer table 2 and goes down, and surface of the bead B is adhered to the adhesive face of the adhesive tape 6. The **suction** nozzle 5 returns onto the arrangement table 3 immediately after adhesion of the bead B, again attracts bead B and moves onto the adhesive tape 6. On the other hand, the transfer table 2 moves in every direction responding to a decoration beads pattern whenever single **bead** B is adhered to the adhesive tape 6 with the **suction** nozzle 5, and this procedure is repeated to form the decoration pattern with beads B on the adhesive tape 6.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭64-67396

@Int Cl.4

識別記号

庁内勢理番号

四公開 昭和64年(1989)3月14日

9/00 1/28

6766-3B B - 6766 - 3B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全7頁)

49発明の名称 装飾ビーズ配列装置

> 20特 顧 昭62-226116

願 昭62(1987)9月8日 ⑫出

@発 橋 明 者 髙

京都府綾部市青野町西馬場下38-1 グンゼ株式会社研究 所内

⑫発 眀 向 井 勇 京都府綾部市青野町西馬場下38-1 グンゼ株式会社研究

所内

明 ②発 内 伸 渚 竹

大阪府大阪市北区中崎西2丁目4番12号 グンゼ株式会社

靴下事業部内

73. 者 牧 野 裕 明

京都府綾部市青野町膳所1 グンゼ株式会社本工場内

京都府綾部市青野町膳所1番地

願 グンゼ株式会社 砂出 人

個代 理 人 弁理士 安田 紐姓

1. 発明の名称

装飾ビーズ配列装置

- 2. 特許請求の範囲
- (1) 可動テーブル2 上を間欠的に移送される粘着 テープ6 に、ピーズB を模様を呈するように配 列し接着する装置であって、

前記可動テーブル2 は前後左右に移動可能と され、該テープル2 の側部にビーズ整列テープ ル3 が配設され、該ビーズ整列テープル3 と可 動テーブル2 との間に位置してピーズ供給ヘッ ド4 が配設され、該ヘッド4 にはビーズ整列デ ープル3 上のピーズB を吸着し、可動テープル 2 上の粘着テープ6 粘着面に接着するビーズ吸 着ノズル5 が装着されていることを特徴とする 装飾ビーズ配列装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、ナイロンストッキング、その他の靴 下、シャツなどの衣類あるいは装飾体等に、ビー

ズを模様が形成されるように熱転写させるに際し 使用されるビーズ配列テーブに、装飾ビーズを配 列する装置に関する。

(従来の技術)

従来、ナイロンストッキングには、ワンポイン トマークとして、第11図に例示した星形に配列し た装飾ビーズIIが、熱転写によって接着されたも のが市販されている。この装飾ビーズのは、1枚 の粘着シート四に同種の模様に配列したものが多 数接着されており、使用に際して、模様毎にシー トロを切断して、1枚づつストッキングに貼付け 然転写を行なう手作業に依存している。なお、ビ - ズB の形状は、第10図に示されているような、 側面からみて略台形を呈し、その底面に円錐状の 接着剤Cが固着されており、接着剤Cの固着され ていない表面が粘着シート四の粘着面内に接着さ れている。したがって、ストッキング等に接着す るときは、この接着剤C 側をストッキングに当て 、てシート四を貼着している。

(発明が解決しようとする問題点)

従来の装飾ビーズ貼着シートは、直接然転写自動化装置に適用することができず、長尺テープに貼着して長尺テープを自動化装置にかけることが考えられるが、長尺テープにシートを貼着するのも手作類に依存することになり、相当多くの労力と時間を要し、逆に面倒が生じコスト高となるという問題がある。

本発明は、上述のような実育に鑑みて案出されたもので、その目的とするところは、ストッキング等への然伝写が自動的に行ないうるように、粘着テープに装飾ビーズを配列し接着する装飾ビーズ配列装置を提供するにある。

(問題点を解決するための手段)

上記問題点を解決するために、本発明では次の 技術的手段を辩じた。

すなわち、本発明は、可動テーブル2 上を間欠 的に移送される粘着テープ6 に、ビーズB を模様 を呈するように配列し接着する装置であって、

前記可効テーブル2 は前後左右に移動可能とされ、該テーブル2 の側部にピーズ登列テーブル3

される。1つの模様が形成されると、粘着テープ 6 が所定量だけ送られ、順次、上述の効作が繰返 され、粘着テープ6 上に多数の装飾模様が一定の 間隔で形成される。

(実施例)

以下、本発明の実施例を図面に基づき説明する。 第1図~第8図は第1実施例を示すもので、1 は支持台、2は可効テーブル、3はピーズ登列テーブル、4はピーズ供給ヘッド、5はピーズ吸着 ノズル、6は粘着テープ、7.8 は離型紙、9は粘 着テープ提出リール、10は粘着テープ巻取リール、 11は離型紙巻取リール、12は離型紙繰出リール、 13.14 はテープガイドローラである。

前記可動テープル2 は、上側の左右方向すなわち X 始移動テーブル24 と下側の前後方向すなわち Y 軸移動テーブル28とからなり、 Y 轴移動テーブル28 は支持台1 上に前後方向移動可能に敬設され、支持台1 上に敬置されたステッピングモータ15により回伝されるねじ蝕16が、 Y 軸移動テーブル28 の下面に吊下突設したナット部材17に螺合されて

が配設され、該ビーズ整列テーブル3 と可動テーブル2 との間に位置してビーズ供給ヘッド4 が配設され、該ヘッド4 にはビーズ整列テーブル3 上のビーズB を吸着し、可動テーブル2 上の粘着テープ6 粘着面に接着するビース吸着ノズル5 が装着されていることを特徴としている。

(作用) :

本発明によれば、ビーズ路列テーブル3上のビーズBは、接着剤Cが接着されている側が上側となって選然と並び、吸着ノズル5により接着剤Cの分が吸着され、吸着ノズル5が可動テーブル2上に移動して下降しれ着テープ6上に移動して下降者させる。吸着ノズル5はビーズBの接着とビーズ Bの接着とビーズ Bの接着とビーズ Bの接着を吸入スル5によって、1個のビーズ Bが粘着テープ6によって、1個のビーズ Bが粘着テープ6によって、1個のビーズ Bが粘着テープ6によって、1個のビーズ Bが粘着テープ6による装飾模様に対応となる装飾模様に対応

おり、前記モータ15により駆動される。 X 軸移動 テーブル2A は、 Y 軸移助テーブル2B上に左右方向 移動可能に 敬設され、 Y 軸移助テーブル2B上に 載置されたステッピングモータ18により回転される ねじ铀19が、 X 铀移助テーブル2A 下面に吊下突設したナット部材20に 蝶合されており、前記モータ18により駆動される。

前記ピーズ整列テーブル3 は、円盤形の振動テーブルからなり、可動テーブル2 の一側(後側)に位置し、前記支持台1 上に敬設されており、ピーズB が、円盤周辺に一列でしかも接着剤C が上側になるように整然と並べられて、吸着ノズル5の直下において停止するようになっている。

前記ピーズ供給ヘッド4 は、支持台1 上に立設された支柱21に、第1アーム22、第2アーム23、第3アーム24を介して支持されており、具体的には第3アーム24にその下側に位置し、軸受25及び中空回転軸26を介して回転自在に取付けられている。このピーズ供給ヘッド4 は、第4図及び第5図に示されているように、ヘッド本体44が平面か

らみて十字形を呈し中央に、前記回伝始26の嵌入 孔27が設けられ、前後左右突起部端面4Bには上下 方向のガイドレール28が突設され、ノズル保持体 29のガイド落30が摺動可能に嵌合されている。ま た、ピーズ供給ヘッド本体4Aの突起部間には、サ イレンサを備えた真空発生装置31が合計 4個取付 けられており、この真空発生装置31には、中空回 転始26内に通じる可捷空気管32がそれぞれ違結さ れている。なお、33は固定ボルトである。

前記ノズル保持体29の各下端には、側方に突起34が設けられ、吊上ばね35の下端がボルト・ナット36により固着されており、吊上ばね35の上端がピーズ供給ヘッド4の上端外側面に螺着されたボルト37に引掛けられており、各ノズル保持体29は、吊上ばね35により常に上方に付勢されている。また、ノズル保持体29の上端内側面には、ピーズ供給ヘッド4との間に位置するカムフオロワー38が、それぞれ回転自在に取付けられている。

さらに、ノズル保持体29には、放射方向外端面 の上下に支持プラケット39.40 がそれぞれ突設さ

に接続された吸引パイプ49が接続せられている。

前記ピーズ供給ヘッド4 と第 3 アーム24との間には、ノズル昇降駆動歯車50が外嵌固着された環状体51が、前記回転触26に軸受52.53 を介して回転自在に外嵌されており、該環状体51の下端部外周は縮径されて、ノズル昇降駆動用円筒カム54が外嵌固着せられている。

この円筒カム54は、下端面が前記カムフォロワー38に当接せられ、ビーズ供給ヘッド4の四分の 一回転毎にカムフオロワー38を押し下げて、ビー ズ吸着ノズル5を昇降せしめるようになっている。

前記第1アーム22は、支柱21に対して上下移動させてノズル高さ調整可能でしかも回動してノズル位置調整が可能となっており、第2アーム23は第1アーム22に対して水平方向(前後)に移動させてアーム長さが調整可能であり、さらに、第3アーム24は第2アーム23に対して第2アーム23の移動方向と直交する水平方向(左右)に移動させて位置調整が可能となっている。

第3アーム24は、第2アーム23の連結部から後

れ、この支持ブラケット39.40 に設けられた上下方向の貫通孔41.42 に、ノズル支持ロッド43及でこれに外版固定せられた好付スリーブ44が上下びの可能に嵌入支持されている。なお、ノズル支持ロッド43には、上端に超45が設けられると共には下端にピーズ吸着ノズル5 がピス46により着脱い下流に取付けられており、鍔付スリーブ44の上端をして出る。として、カケット39に固定され、ピーズ吸着ノズル5 は該スプリング47を介して吊り下げられている。

したがって、ピーズ吸容ノズル5 は、下降して ピーズB を粘着テープ6 に押圧接着せしめる際、 前記スプリング47の弾発力によって、常時所定の 押圧力が作用せしめられる。

前記ピーズ吸着ノズル5 は、中空で上記ノズル 支持ロッド43が上端開口から挿入されて固定され、 下端のピーズ吸着開口5AはピーズB の大きさによ り選定されており、側面に吸引パイプ接続開口48 が連通状に設けられ、一端が前記真空発生装置31

方に延出され、延出部24A 下面には超低速シンクロナスモータ55が、その出力始56を第3アーム24上面上方に突出するように取付けられている。

前記モータ55の出力強56には、タイミングアーリ57が楔着されており、このブーリ57に掛装されたタイミングベルト58は、第3アーム24に前記回 伝強26に近接しかつ平行に強支された駆動強59に 楔着されているタイミングブーリ60に 巻掛けられている。なお、駆励強59の下端は、第3アーム24を貫通して下方に突出せられて、前記ノズル昇降 駆助歯車50に 噛合する伝効歯車61が楔着されている。車62及び滑り防止ブーリ63が楔着されている。

前記回伝始26には、第 3 アーム24の上方に位置して、前記ゼネバビン歯車62に暗合するゼネバ海車64及び滑り防止プーリ65が楔着されると共に、上端に回伝管接手66が取付けられている。そして、前記両滑り防止プーリ63.65 間には、丸ベルト67が巻掛けられ、ゼネバ歯車62.64 の噛合ガタを防止し、回伝始26の間欠回伝が所定の角度ずつ正確

に行なわれ、ピーズ吸着ノズル5 の停止が定位置 に精度よく行ないうるようにしてある。

なお、ヘッド本体4Aの回転数は、円筒カム54の回転数の半分であり、したがって、ピーズ吸着ノズル5 がピーズ供給ヘッド4 上のピーズB を販着するピーズ吸着位置と、ピーズB を粘着テープ6上に接着するピーズ接着位置との2個所でのみ下降するように、前記2位置以外の区間で鍔45に対して下側から係合するC字状の下降規制部材80が一対設けられている。この下降規制部材80はステー81を介して第3アーム24に支持されている。

なお、前記回転管接手66には、圧縮空気供給管 68が接続されている。

前記各リール 9~12は、X 軸移動テーブル2A上の左右両端部に前後方向の軸をもって互に平行にかつ回転自在に軸支され、粘着テープ巻取リール10及び離型紙巻取リール11が図外のモータによって間欠的に駆動されるようになっており、粘着テープ及び離型紙繰出リール9,12は粘着テープ6の巻取りによって回転せられるが自然に回転してテ

ーサー74の位置(第7図に△印をした位置)の中間部に位置し、上下のスペーサー74が重ならないようにしてある。

したがって、ピーズ8 が粘着テーブ6 上に所定の圧力で押圧着されると、タッチセンサー69は、その上下層いずれかのセンサー基体69A.69B によって確実に検出できる。すなわち、上層センサー基体69A あるいは下層センサー基体69B のスペーサー74上を押圧着しても、下層または上層センサー基体69B,69A の導電皮膜72.73 を押圧接触くなっため、によができ、検出もれを生ずることができ、検出もれを生ずることが発着に見が発せられなってが接着され、ピーズ接着信号が発せられて接着でいたが、可動テーブル2 は駆動されず、ズ接着信号が発して、スをかけなわれるまで、なり、回じて、スを発情である。とに模様配列どおりのピーズ接着が確実に行なわれる。

上記第1実施例によれば、まず、可動テーブル 2 上に粘着テープ6 をその粘着面が上向きになる ープ等がたるむことがないように各軸に抵抗を付 与されている。

69はタッチセンサーで、第6図乃至第8図に示 すように、上下二層に構成され、X軸移動テープ ル2Aの上面に、ビーズ吸着ノズル5 直下の所定範 囲にわたって埋設され、粘着テープ6の粘着面に ピーズB が接着されたことを検出して、X、Y軸 移動制御装置(図示省略)に信号を送り、あらか じめ設定されたピーズB の配列どおりに可動テー ブル2 が移動せしめられるようになっている。こ のタッチセンター69は、上下層の各センサー基体 69A,69A 共に同一構造で、上下の絶縁物質(たと えば合成樹脂)からなるフィルム(またはシート) 状のベース70.71 の対向面にそれぞれ導電皮膜72. 73が接着せられ、両導電皮膜72.73 間に、絶縁物 質からなる小さなスペーサー74が所定の間隔で配 列固着されている。そして、この上下層のセンサ -基体69A,69B を重ね合わせたときに、上層セン サー基体69A のスペーサー74の位置(第7図に〇 印をした位置)が、下層センサー基体69B のスペ

ように配置し、ピーズ整列テーブル3 上に熱転写 用接着剤C の接着されたビーズB を投入してあら かじめ整列させる。そこで、設定されたビーズ配 列スタート位置が、ピーズ吸着ノズル5 の直下に 位置するように、可動テープル2 が移動せられ、 モータ55の駆動と同時に、真空発生装置31への圧 縮空気の供給を行ない、ビーズ吸着ノズル5によ るピーズB 吸着可能な状態にする。モータ55の回 転に伴なって、回転軸26がゼネバビン歯車62及び ゼネバ海車64によって間欠回転せられると共に、 伝動歯車61及びノズル昇降駆動歯車50を介して環 状体51に固着された円筒カム54が回転し、ノズル 保持体29が間欠的に昇降動せしめられ、ピーズ吸 着ノズル5 が、ビーズ吸着位置及びビーズ接着位 置に移動したとき、前記円筒カム54によってピー ズ吸着ノズル5 が下降限まで下降せられる。した がって、ピーズ整列テーブル3 上のピーズB は、 ピーズ吸着ノズル5 により接着剤C 部が吸着され、 ピーズ供給ヘッド4 の回転によって、可動テーブ ル2上に移動し、ビーズ吸着ノズル5の下降によ

なお、ビーズB は、ノズル吊下スプリング47の 弾発力によって、一定の押圧力で接着されるため 破損したり、テーブ6 が破れるなどの問題は生じ ない。

さらに、第1実施例によれば、上述のように、

成は第1実施例と全く同一である。したがって、 詳細説明は省略する。第2実施例では、可動テー プル2 の長さを短かくできる。

なお、本発明の実施例では、間欠駆動機構としてゼネバ歯車を利用しているが、他の公知の手段を採用することができ、また、ピーズ吸着ノズル5の昇降駆動機構も円筒カム54に代えて他の公知技術を採用してもよいこと勿論である。

さらに、ビーズ吸着のための真空発生機能を有する真空発生装置31に代えて、他の吸着手段を採用することができる。

(発明の効果)

本発明にかかる装飾ビーズ配列装置は、上述のように、可動テーブル2上を間欠的に移送される 粘着テープ6に、ビーズBを模様を呈するように 配列し接着する装置であって、

前記可動テーブル2 は前後左右に移動可能とされ、該テーブル2 の側部にピーズ整列テーブル3 が配設され、該ピーズ整列テーブル3 と可動テーブル2 との間に位置してピーズ供給ヘッド4 が配

1台のモータ55によって、ピーズ供給ヘッド4の間欠回転及びピーズ吸着ノズル5の昇降を同期して円滑に行なうことができ、また、滑り防止プーリ63,65及び丸ベルト67によって、ゼネバ歯車間欠駆動機構のガタをなくし確実な間欠駆動を正確に行なうことができ、したがって、ピーズBを設定された位置に精度よく接着し、同一の模様を正確に形成することができる。

また、タッチセンサー69も上下二層とすると共 にスペーサー74が上下に重ならないようにしたの で、ピーズ接着の有無を、タッチセンサー69のい かなる位置においても正確に検出でき、品質の向 上を図ることができる。

第9図は、本発明の第2実施例を示すもので、 粘着テープ繰出リール9、粘着テープ巻取リール 10、離型紙巻取リール11及び離型紙繰出リール12 を、支持台1上に設け、さらに、テープ級み防止 ローラ75.76を上下動可能に設け、ガイドローラ 13.14の下側にピンチローラ77.78を設けた点に おいて、第1実施例と異なっており、その他の構

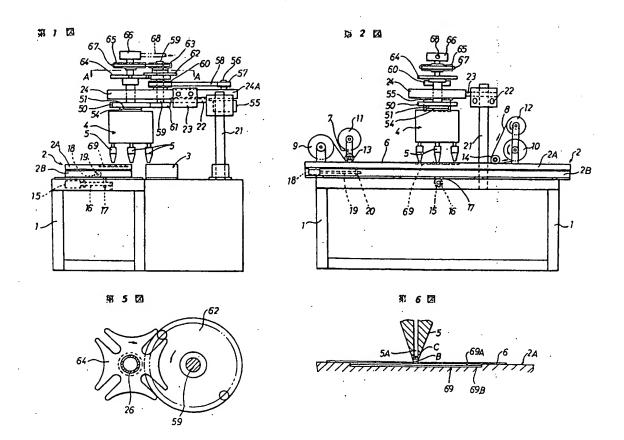
設され、該なってはピーズを到テーブル3上の出着テーブル2上の粘着テーブル2上の粘着テープ6 転着面に接着するピーズ吸着人式ル5が装着面に接着するピーズBを自動的に配配ので、粘着でき、粘着でして、場を自動的に配配ので、なり、ローズBを自動的に配配のである。とかが、ローズを自動的に配って、なりによりである。とが可能である。

4. 図面の簡単な説明

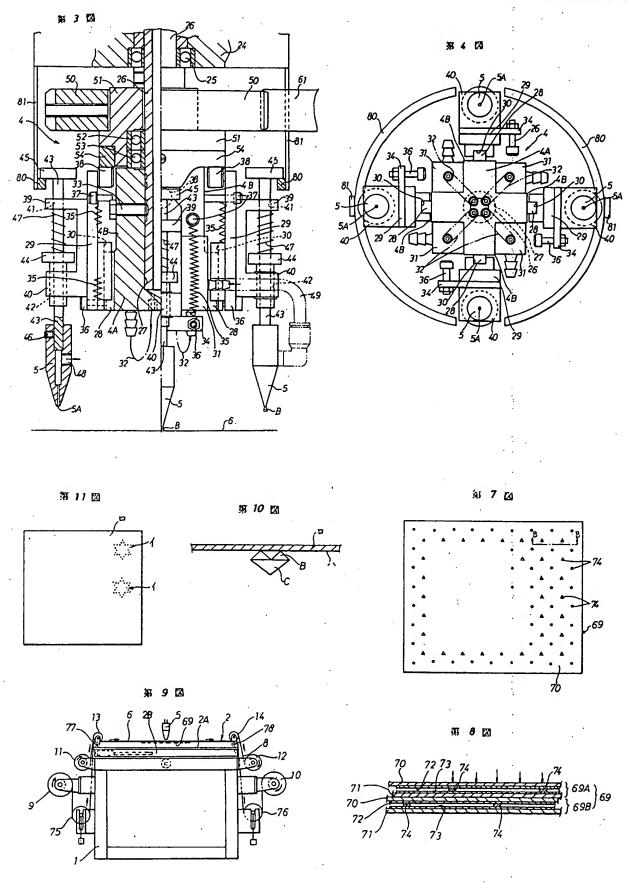
第1図〜第8図は、本発明の第1実施例を示す もので、第1図は一部省略側面図、第2図は同正 面図、第3図はピーズ供給ヘッドの詳細構造を示 す一部破断正面図、第4図は第3図の下面図、第 5図は第1図のA - A線に沿う断面図、第6図は ピーズの接着状態説明図、第7図はクッチセンサ ーの平面図、第8図は第7図のB - B線に沿う断 面拡大図、第9図は本発明の第2実施例を示す要 部正面図、第10図はピーズがテープに接着された 状態の拡大断面図、第11図は従来の装飾ピーズ貼 着シートである。

2…可助テーブル、3…ピーズ盛列テーブル、 4…ピーズ供給ヘッド、5…ピーズ吸着ノズル、 6…粘着テープ、B…ピーズ。

特 許 出 願 人 グンゼ株式会社 代 理 人 弁理士 安 田 敏 雄



-564-



-565-